

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成27年度第2回 理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 4 月 15 日（水曜日）13：00～15：00

開催場所：ホテル日航福岡 5 階「志賀」

出席した理事：持田 讓治（理事長）、紺野 慎一（専務理事）、田口 敏彦（専務理事）
吉田 宗人（専務理事）、小森 博達（常務理事）、山崎 正志（常務理事）、井口 哲弘、
岩崎 幹季、竹下 克志、根尾 昌志、橋本 友幸、長谷川 徹、波呂 浩孝、平林 茂、
平泉 裕、松山 幸弘

出席した監事：小西 宏昭（監事）、松永 俊二（監事）

以上、理事 16 名、監事 2 名

決議事項

1. 3 月の入退会の件

田口副理事長が、3 月の入退会について特に問題なく認められたと報告した。一同検討の結果、承認した。

2. 平成 28 年診療報酬改定作業において、個別術式毎の全国規模データ不足による NCD 加盟学会との格差について

平泉理事が、平成 28 年度の診療報酬改訂作業において、NCD 加盟学会では多くの正確なデータを持ち優位に改定を進められている現状を報告した。持田理事長が役員・委員会間で情報を共有して今後の動向を見守ることを提案し、一同承認した。

3. 保険非適応の腹腔鏡下手術によって発生した死亡事故例の社会問題化について

平泉理事が、保険非適応の術式による手術で、死亡事故が社会問題となった件につき、問題提起した。持田理事長が平泉理事から E メールで本件にかかわるエッセンスを文書にして回覧してほしいと依頼し、平泉理事が了解した。

4. その他

波呂理事が、前回 3 月の理事会で小西監事に指摘された専門医研修施設予備調査における合格・不合格の施設名のどちらにも掲載されていた施設については、該当施設に所属する指導医 2 名が別々に申請したことが原因だったことが判明したと報告した。このたびの福岡学術集会後に、合否通知の送付の準備に取り掛かることになった。

審議・報告事項

1.教育研修委員会より：1) 研修コースの予算建てについて

2) クリニカルフェローについて

竹下理事が、今回の教育研修コースは満席となり、企業からの資金協力については共催が減り寄付の割合が高くなっているが、大川委員長の尽力でほぼ例年と同額の収入を得られていると報告した。ただし、年々企業の資金面での協力が得にくくなってきているため、来年度からは本体の会計から予算を捻出してほしいと依頼した。

続いて、竹下理事が本年のクリニカルフェローについて、応募はすでに締め切られているが、通年で募集しているため、引き続き申請を受け付け中と説明した。

2.評議員会・総会の式次第再確認

評議員会の式次第について、全員で確認した。

3.その他

小森理事が、今回の学術集会抄録集の遅延が一部に見られた件について報告した。

また、広報委員会にて一般向けの「疾患ページ」を改修中で、近日差し替え予定であると報告した。

以上

平成 27 年 4 月 15 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監 事 小 西 宏 昭

監 事 松 永 俊 二